



令和 5 年 6 月 28 日

公開セミナー「生と死の倫理」
「LGBTQ の子どもはライフプランを立てられるのか？」を開催
「日本の法律は少数者にやさしいのか」について議論

◆発表のポイント

- ・2023 年 7 月 8 日（土）、公開セミナー「LGBTQ の子どもはライフプランを立てられるのか？ LGBTQ と法律」を開催します。G7 広島サミット開催を契機に、LGBT 理解増進法についての議論が急速に進みましたが、2 年前に超党派の議員連盟で作成した案からは、かなり後退したものになったとの批判もあります。
- ・LGBTQ の子どもたちが差別を受けることなく、教育や就職の機会を奪われず、結婚し家族を持つことができるために、日本の法律はどのようにあるべきか。「同性婚」「戸籍の性別変更」「生殖医療による家族形成」に関する法律について、当事者の声や専門の立場からの意見を聞き議論します。

<概 要>

近年、日本でも LGBTQ（性的マイノリティ）当事者への理解や支援が広がってきています。しかし、LGBTQ/SOGI（性的指向や性自認の多様性を示す概念）に関する法整備は遅れており、自身らしく生きること、結婚すること、子どもを持つことなどに関して、依然として LGBTQ 当事者は不自由さを感じています。

全国 5 つの地方裁判所での「同性婚」訴訟もすべての判決が出され、同性婚を認めないことは「違憲」「違憲状態」「合憲」と判断が分かれた状況になっています。また、G7 広島サミット開催を契機に、LGBT 理解増進法についての議論が急速に進みましたが、2 年前に超党派の議員連盟で作成した案からは、かなり後退したものになったとの批判もあります。

このため、本シンポジウムでは、LGBT 理解増進法、性別変更の特例法（性同一性障害特例法）の要件緩和、子どもを持つなど LGBTQ 当事者の家族形成に関すること（生殖医療民法特例法）など、LGBTQ の子どもたちのライフプランにとって、味方とも敵ともなる各法律について学び、考えるシンポジウムを開催します。

「LGBT 理解増進法」に関しては、LGBT 法連合会代表理事の藤井ひろみ先生や岡山商科大学法学部教授の栗屋剛先生から、「性同一性障害（性別不合）当事者の性別変更」に関しては、本学大学院教授の中塚幹也先生や宍戸圭介先生から、さらに、「生殖医療民法特例法と卵子・精子提供」に関しては、LGBTQ 当事者の生殖医療や養子縁組による家族形成を支援している団体であることまっぴ代表理事の長村さと子先生や京都産業大学法学部の渡邊泰彦先生から種々の意見を聞くことができます。また、ネット上などで広がっている疑問や批判についても回答します。

広く多くの方に参加していただくため WEB 開催としています。どなたでも、ご参加ください。

日時：2023 年 7 月 8 日（土）13 時～16 時 20 分（Zoom にてオンライン開催）

申し込み先：josan@okayama-u.ac.jp までメールで申し込み。

要事前申し込み。締め切りは 7/7（金）15 時まで。

参加料：無料



PRESS RELEASE

◆研究者からのひとこと

GID（性同一性障害）学会理事長、トランスジェンダーに関連する法律と医療を考える会（プロジェクトTGD）の発起人代表として、性同一性障害当事者の戸籍の性別変更のための特例法の改正、性同一性障害のホルモン療法の保険適用、LGBTQ 当事者の家族形成などの課題解決に向かって活動中です。

Yahoo! ニュース個人オナーサー・サイト「生殖とジェンダーの今」
<https://news.yahoo.co.jp/byline/mikiyanakatsuka>でも発信中。

中塚幹也



■研究資金

本研究は、2022年度 科学研究費補助金基盤研究（B）『LGBTQ 当事者の家族形成実現とライフプラン教育の社会実装への相互深化モデル形成』を受けて実施します。

■補足

情報は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室

教授 中塚幹也

（電話番号）086-235-6538（FAX兼）

（メール）josan@okayama-u.ac.jp



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

第14回
since 2009

生と死の倫理セミナー

LGBTQの子どもはライフプランを立てられるのか？

2023年

7月8日(土)

13:00~16:20

岡山大学鹿田キャンパス

オンライン開催

Zoomで開催

(スマホでもPCでもタブレットでも可)
要事前申込(締切:7月7日15時まで)
二次元コード読み取りもしくは
メール(josan@cc.okayama-u.ac.jp)
で参加をお申し込みください。
Zoomの使い方の説明・当日の招待を
お送りします



LGBTQと法律

なぜ、性的指向や性自認による差別はいけないの？

性自認と性同一性の違いは？

性別変更の要件としての性別適合手術は合憲？

日本で精子・卵子の提供を受けることはできる？

LGBTQ当事者は子どもを持つてはいけないの？

日本は、すべての人が生きやすい社会？

今回は、寄せられた疑問にお答えします。

プログラム

13:00~13:10 あいさつ

岡山大学学術研究院保健学域 中塚幹也

<LGBT理解増進法> 13:10~14:05 (質疑10分を含む)

LGBT関連法の必要性と望むこと:理解増進と差別禁止

LGBT法連合会 代表理事 大手前大学国際看護学部 藤井ひろみ

なぜ、差別はいけないのか

岡山商科大学法学部 粟屋 剛

<性同一性障害特例法> 14:15~15:10 (質疑10分を含む)

性別変更要件の課題と提言:ICD-11を踏まえて

岡山大学学術研究院保健学域 中塚幹也

トイレ使用をめぐる議論

岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 穴戸圭介

トランスジェンダーに関連する
法律と医療を考える会
プロジェクトTGD

<http://pttgdjapan.html.xdomain.jp/>

<生殖医療民法特例法> 15:20~16:15 (質疑10分を含む)

すべての女性に安全な医療の提供を

一般社団法人こどもまっぴが 代表理事 長村さと子

LGBTQからみた生殖医療民法特例法の限界

京都産業大学法学部 渡邊泰彦

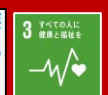
2023年7月29~30日 第51回日本女性心身医学会学術集会(岡山)

シンポジウム「トランスジェンダーのメンタルヘルス問題への理解と支援」

会場:岡山国際交流センター

研修費・学生は参加費無料

ぜひ、ご参加を!! その他の内容は <https://med-gakkai.jp/jspog51/>



2023年度 科学研究費補助金基盤研究(B)
LGBTQ当事者の家族形成実現とライフプラン
教育の社会実装への相互深化モデル形成



「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax:086-235-6538

E-mail:josan@cc.okayama-u.ac.jp

「生殖とジェンダーの今」Yahoo! ニュース
<https://news.yahoo.co.jp/byline/mikiyanakatsuka>

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>